



笑顔いっぱい 夢いっぱい

郡山市立安積第三小学校
学校だより No.29
令和7年 7月18日
文責:校長 酒井 健

◇1学期が終わりました。明日から「夏休み」です。

72日間の1学期が本日で終了。明日からは、子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。猛暑が予想される夏休みスタートとなりましたが、ご家庭においても熱中症対策などに十分ご配慮していただき、思い出をたくさんつくることのできる夏休みにしてほしいと思います。

また、全学年、子どもたちがタブレットを持ち帰るようにしました。これは、郡山市全ての小・中学校で実施していることであります。タブレットは、ご存知のとおり、精密機械であります。扱い方一つで故障してしまったり、破損してしまったりします。そのようなことがないように、置いておく場所、使い方、持ち運びなどに十分ご注意ください。

ご家庭においては、学年に応じて「スタディサプリ」を有効に活用し、1学期の復習にしっかりと取り組んでほしいと思います。詳しくは、学校からのお便りをご覧ください。

8月25日(月)が、2学期のスタートとなります。37日間の充実した夏休みを過ごし、ひとまわり大きくなった子どもたちと会えることを楽しみにしています。

この1学期、保護者の皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。



◇夏休み期間中の報告・連絡について

37日間の夏休み期間中、何かあった場合は、学校へ必ずご連絡をしてください。

※ 何かありましたら、すぐに学校へお電話でお知らせください。〔安積三小 945-8700〕

※ ただし、8月12日(火)～8月15日(金)は学校閉庁日となっております。この期間で、何かあった場合は、郡山市教育委員会へのご連絡をお願いいたします。受付時間帯は 8:30～17:15 です。

◇子どもの交通事故・救急搬送・生徒指導上緊急を要する連絡 → 学校教育推進課 924-2431

◇学校施設の破損等に関する連絡 → 学 校 管 理 課 924-3421

校長のひとりごと

本日の終業式で子どもたちに話したことは、「優しさ」「思いやり」という内容でした。私の中で、今でも忘れられない東日本大震災の際の感銘を受けたお話です。こんな内容でした。

今から14年前、3月に東日本大震災が発生し、さらに福島県は原発事故という未曾有の震災に見舞われました。4月以降、様々な制限や不安や恐怖がある中で、子どもたちは健気に学校に登校していました。その頃、私は、郡山市内のある小学校に勤務しており、3年生から6年生までの音楽の授業を受け持っていました。

震災から2ヶ月ほどたったある日、3年生の音楽の授業で「ビリーブ」を歌った時です。「♪たとえば君が傷ついて♪くじけそうになった時は♪必ずぼくがそばにいて♪ささえてあげるよ♪その肩を・・・」歌い終わると1人の女の子が私のところに来て、こんなことを言ったのです。「先生、あのね、ピックパレットに行って、この歌を震災で避難している人たちの前で、歌ってあげたい。元気づけてあげたい」その子の目には涙が溢れていました。私は、この言葉を聞いて、なんて優しい気持ちなんだろう、なんて柔らかな心なんだろうと、子どもたちの前ではありましたが、涙してしまいました。もう一度、じっくりと歌詞を見てみましょう。

『優しさ』そして『思いやり』が人と人との心をつなげるのですね。では、全校の皆さんで、ビリーブを歌ってみましょう。

この後、私の『なんちゃってピアノ』で、全校生でビリーブを歌いました。体育館に響き渡る子どもたちのビリーブの歌声は、優しい、穏やかな響きでありました。1学期の締めくくりの今日、全校生で心を一つに『優しさ』と『思いやり』について感じ取ることができたことは、よかったなと思います。保護者の皆様にも、ぜひ聴いてほしかった・・・そんな歌声でした。